

やつお・山田の

議会レポート

2022（令和4）年5月発行 N07
 発行：日本共産党広陵町議員団
 町会議員：八尾春雄 0745-60-0972
snkb30217@hera.eonet.ne.jp
 町会議員：山田みつよ 090-3972-5674
mitsuyo.yamada22@kcn.jp

消費税は今すぐ減税を!

当面、10%を5%に減税し、 インボイス制は中止を!

長引くコロナ禍は日々の暮らしを直撃し社会の矛盾をあからさまにしています。そんな中でも、住民の声が出た事柄では政府も対応を変更せざるを得ない事態になっています。

子育て世帯臨時特別給付金は最終的に所得制限を撤廃し、すべての18歳未満の子どもにも現金10万円が支給されました。

当初の計画では「現金5万円・クーポン5万円とし所得制限960万円未満の保護者に」でした。でもクーポンが使いにくい、経費が莫大になるとの批判が出ました。最終的には「所得制限を撤廃し、18歳未満の子ども全員」に支給しました。国民世論が政治を動かしたのです。

大学生・専門学校生などへの支援も直ちに求められる。

18歳未満者のみならず、大学生や専門学校生にも大きな影響が出ており、就職前の状態にある青少年が制度のはざままで援助を受けられないことは将来への大きな損失となっています。



議会は「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し断固抗議し、平和的解決を求める意見書」を全会一致採択。また町長・議長が連名で、ロシアプーチン大統領に対し抗議しました。（議会だより参照）

もしプーチンのような人物が日本の総理大臣になっても、外国との戦争はしないと決めた日本国憲法九条により戦争はできません。現行憲法が役に立たないのでなく、戦争を回避する外交的努力を貫くことこそ町議会の意見書や町長・

クリーンセンターの稼働が停止されました。令和4・3・18

15年の稼働期間を周辺四カ大字と協定していた通り、去る3月18日を以て稼働停止となりました。即決和解という裁判所の裁定は判決と同等のもので絶対です。

今後の跡地利用について、天理で令和7年5月から稼働する新清掃センターに町内のゴミを搬入しますが、10トン車への積み替えが求められたため、燃やすゴミはいったん安堵町の施設に搬入します。逆に安堵町の不燃物は広陵町の跡地で積み替え作業が行われます。これらの経緯を踏まえ四カ大字との新たな協定書が2月22日第2回臨時議会に提案され全会一致で可決されました。協定の趣

指定ゴミ袋半額を求める請願（898筆）は不採択になりました

請願趣旨の説明で主婦の方からは「ゴミ収集が無料の町から引越してきたので有料そのものにビツクリ、住民負担は既に公平に税金を所得に応じて負担しているのに、ゴミ減量を持ち出して負担の公平を言うのはおかしい」などの陳述がありました。

22日の本会議採決では、「ごみ行政には住民が協力しているので還元を求める」（坂口議員）「リサイクル資源ゴミの収益が正当に評価されていないので改めよ」（谷議員）との賛成意見も出ましたが、賛成4反対9で不採択となりました。3名の新人議員（千北・岡橋・岡本…敬称略）は今回もダンマリで反対でした。

議会は「ゴミ減量推進審議会の再開を求める」決議を可決。

請願に反対した議員から、標記の決議案が提案され、全会一致可決しました。住民要望を不採択にしたため、住民を納得させられる説明が出来なくなつたのでしょうか。

インボイスとは?

消費税は、売り上げ分の消費税から、仕入れ・経費分の消費税を差し引いて、納税額を計算します。仕入れ・経費の消費税が引けなければ、消費税の納税額は大きく膨らんでしまいます。インボイス制度の下では、取引相手から事業者登録番号が明記されたインボイスが求められます。それがないと、取引相手は消費税の納税額から、仕入れ・経費に掛かる消費税を差し引くことが、認められなくなるからです。インボイスは、8%と10%の税率ごとに金額をまとめた領収書・請求書です。本格実施は2023年10月予定です。